35th PFF / PIA FILM FESTIVAL in NAGOYA

第35回 PFF in名古屋

PFF史上初! 途中入退出、再入場も可能な
PFFアワード2012&2013 一挙マラソン上映!

驚きと発見の6日間

名古屋グランプリを選ぼう!
豪華招待作品4作品
ゲスト多数来場

ぴあフィルムフェスティバル

2013.11.12[tue]-17[sun] 12階・アートスペースA 愛知芸術文化センター

主催: PFFパートナーズ ぴあ ホリプロ NIKKATSU / UNIJAPAN 公益財団法人ユニジャパン / 愛知芸術文化センター
特別助成: 一般社団法人 映画演劇文化協会
特別協賛: SEGA SAMMY GROUP
後援: 一般社団法人 日本映画製作者連盟 / NPO法人 映像産業振興機構(VIPO) / 協同組合 日本映画監督協会
協力: 早稲田大学

http://pff.jp/35th/

芸術文化振興基金助成事業 CoFesta

PFF ぴあフィルムフェスティバルとは？

PFF ぴあフィルムフェスティバルは、「映画の新しい才能の発見と育成」「映画の新しい環境づくり」をテーマに、1977年にスタートした映画祭です。日本が世界に誇る「自主映画」の若い映画監督の発見・紹介を中心に活動し、これまでに日本映画界で活躍する、多くの映画監督を輩出してきました。

PFFアワード 新しい才能の発見・紹介

PFFのメインプログラム「PFFアワード」は、世界最大規模の自主映画のためのコンペティションです。2012・2013年に全国から応募された全1,033作品の中から、約4ヶ月の審査期間を経て厳選された、入選32全作品を一挙上映します。入選監督たちの平均年齢はなんと24.8歳！ぜひPFFの会場で、新たな才能の誕生とその熱量を感じてください！

PFFスカラシップ 新しい才能の育成

「PFFスカラシップ」とは、「PFFアワード」の入賞者によるオリジナル企画を、PFFが企画から製作、公開までトータルプロデュースする新人監督育成システムで、これまで22作品を製作してきました。最新作『HOMESICK』は名古屋シネマテークにて近日公開予定です。

「PFFアワード」から多くの映画監督が生まれています。

※写真は入選年代順／敬称略

森田芳光 石井岳龍 犬童一心 黒沢 清
中島哲也 園 子温 成島 出 橋口亮輔
塚本晋也 矢口史靖 中村義洋 熊切和嘉
李 相日 荻上直子 内田けんじ 石井裕也

Invited Works

[招待作品部門]

名古屋だけの特別企画

濱口竜介監督特集実現！

スクリーンでみるチャンス到来です。

福島の子供たちの現実が世界中の胸を打った

イアン・トーマス・アッシュ監督のドキュメンタリー！

いよいよ名古屋に登場！監督来場も決定しました。

PFF Award 2012 2013

[コンペティション部門]

PFFアワード2012＋PFFアワード2013＝全32作品！

PFF史上初のマラソン上映！どこから観てもOKです。

必ず **当日券** 販売します！

Ticket 全席自由席です。

PFFアワードは1日連続上映。入れ替えなしで上映します。
当日券および当日フリーパスもご用意致しております。

	前売券	当日券
[招待作品部門]		
『A2-B-C』『PASSION』『不気味なものの肌に触れる』1回券 [Pコード:552-030]	各1,200円	各1,500円
『親密さ』 [Pコード:552-030]	1,800円	2,200円
[コンペティション部門]		
アワード1日券〈日付指定〉 [Pコード:465-142]	2,500円	3,000円
アワード1日学生券〈日付指定〉	——	2,500円
アワードフリーパス [Pコード:465-143] PFFアワード2012〈11/14&16有効 限定50枚〉 ＊第34回オフィシャルカタログ割引券つき PFFアワード2013〈11/15&17有効 限定50枚〉 ＊第35回オフィシャルカタログ割引券つき	各4,000円	各4,000円
アフター5券〈17時以降に入場可〉	——	1,000円
[招待作品部門]＋[コンペティション部門]		
全プログラムフリーパス [Pコード:465-143]〈限定30枚〉 ＊第34回&35回オフィシャルカタログ割引券つき	10,000円	10,000円

[前売券の購入方法]

チケットぴあにて発売中！(愛知芸術文化センターでの販売はありません)

○チケットぴあ、サークルK・サンクス、セブンイレブンの店舗で直接購入
※上映日の2日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、105円/枚がかかります。

○インターネットにて購入 http://pia.jp/t/pff/
※上映日の2日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、315円/枚がかかります。

○電話予約にて購入 チケットぴあ音声認識予約:0570-02-9999
※上映日の5日前まで可能です。発券手数料およびシステム使用料として、315円/枚がかかります。

pia.jp/t チケットぴあ 0570-02-9999

[当日券の購入に際して]

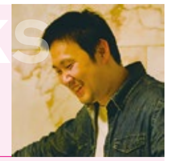
○当日券は会場窓口で必ず販売します。
○当日学生券の購入時は、学生証の提示が必要です。
○当日券の販売は、各日初回開始の30分前から。その日分をすべて発売します。

[招待作品部門]

一般公開より一足先に、強力な作品をお披露目します。
濱口竜介の話題の作品群と、フクシマの今の記録。必見です。

作品の詳細は、公式ホームページで！監督情報も満載です。 第35回 PFF 検索

11.12 [火]



1978年生まれ。神奈川県出身。大学院修了後、『THE DEPTHS』(10年)、『なみのおと』『なみのこえ』(11～13年)等を監督。最新作『うたうひと』(13年)は山形国際ドキュメンタリー映画祭2013にてスカパー！ IDEHA賞を受賞。今夏、関西・東京で行われた特集上映も大盛況となった。

濱口竜介

19:00～
『不気味なものの肌に触れる』 2013年／54分／カラー
監督 濱口竜介

染谷将太が「ときめきに死す」の沢田研二にみえてくる…濱口監督話題の最新作

11.13 [水]

©Uchujin Adrian Storey 2013

1975年生まれ。アメリカ出身。ドキュメンタリー映画監督。滞日歴は10年におよび、原発事故後の福島で本作『A2-B-C』をはじめ、『グレーゾーンの中』(12年)などの作品を製作。本作はニッポンコネクション、グアム国際映画祭にて賞を受賞し、世界中の映画祭で反響を呼び続けている。

Ian Thomas Ash

11:00～
『A2-B-C』 2013年／71分／カラー
監督 イアン・トーマス・アッシュ

世界中の胸を締めつけた福島の母たち子供たちのドキュメンタリーが名古屋に！

監督 来場予定

13:45～
『PASSION』 2008年／115分／カラー
監督 濱口竜介

紡がれる人間関係と距離感。風景が言葉たちが映画を生む、濱口監督東京藝大大学院修了制作作品。

16:15～
『親密さ』 2012年／255分／カラー
監督 濱口竜介

気付くと愛について考えている映画＋演劇＝4時間15分の至福。濱口監督最長編作。

作品や監督の詳細はこちら

http://pff.jp/35th/ 第35回 PFF 検索

PiaFilmFestival
@pff_award

来場ゲストなど最新情報も随時配信しています

お問い合わせ！

PFF事務局 03-5774-5296(平日10:00～18:00)

あなたが決める PFF名古屋賞！

ご来場いただいたお客様の投票により、**「名古屋グランプリ」**を決定します。
9月の東京開催では、最終審査員＊本年は安藤親広(プロデューサー)、橋本一(監督)、中井美穂(アナウンサー)、中村義洋(監督)、森山未來(俳優)らの選ぶ賞が発表された。(敬称略)
名古屋では、観客が選ぶ「名古屋グランプリ」を設定。受賞監督には記念品が贈られる。会場の投票用紙で、名古屋賞決定に参加しよう！

PFF Award 2012

加藤秀則 永山正史 河合 健 佐久川満月
弓場 絢 青石太郎 イノウエカナ 渡部亮平
川原康臣 伊藤智之 工藤隆史 嶺 豪一
加藤綾佳 二ノ宮隆太郎 山戸結希 鶴岡慧子

PFF Award 2013

※写真は上映順／敬称略

河津宏亮 猪狩裕子 泉谷智規 朴 美和
佐藤悠玄 山本圭祐 川喜田茉莉 田島由深
山下洋助 加藤拓人 伊藤裕満 富樫 渉
平野朝美 荒井周士 池田 暁 市川悠輔

[コンペティション部門]

物語を生む強い意志と、みせること志向する心。
21世紀の自主映画、そのエンターテインメント性に驚く32作品です！

作品や監督の詳細は公式ホームページで！ 来場ゲストなどの最新情報も随時アップしますのでご期待ください。 第35回 PFF 検索

11.14 [木] PFF Award 2012

11:30~

『あの日から村々する』 22分／カラー

監督 加藤秀則（20歳／宮城県）

原子力発電を全廃させた
2021年の日本で悪夢の事故が再び！
▶ニッポンコネクション（ドイツ）

『飛び火』 58分／カラー

監督 永山正史（28歳／神奈川県）

夜の山道で助けてくれたオジサンの
倫理観に恐怖で震える青年

『極私的ランナウェイ』 76分／カラー

監督 河合 健（22歳／大阪府）

夢を忘れた青年と金髪援交娘が
北へと向かうロードムービー

～ 休 憩 ～

15:00~

『オハヨー』 13分／カラー

監督 佐久川満月（23歳／沖縄県）

恥辱にまみれた失恋男子が
疾走の果てに吐き出すものとは?!

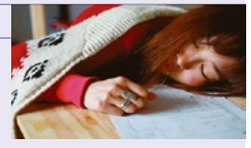
『リコ』 65分／カラー

監督 弓場 絢（23歳／兵庫県）

中年男との同居生活で他者と繋がる
すべを学んでいく無口な女の子
2012年 神戸賞
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ）

『Please Please Me』 65分／カラー

監督 青石太郎（22歳／東京都）



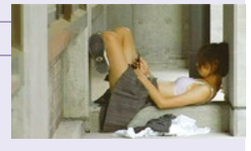
ささやかに幸せに暮らす女子大生が
悪意の存在によって世界を発見
2012年 日本映画ペンクラブ賞

～ 休 憩 ～

18:15~

『あん、あん、あん』 43分／カラー

監督 イノウエカナ（22歳／京都府）

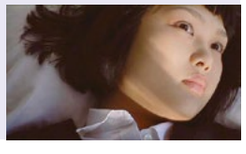


ボーイッシュな女子高生を軸に
浮遊する「女」のさまざま
2012年 審査員特別賞／京都賞

『かしこい狗は、吠えずに笑う』 94分／カラー

監督 渡部亮平（24歳／愛媛県）

孤独な女子高生が初めて見つけた友情。
その絆の行く先は?
2012年 エンタテインメント賞／映画ファン賞
▶メイドイン釜山独立映画祭2012（韓国）
▶ニッポンコネクション（ドイツ）
▶シンガポール日本映画祭2013（シンガポール）
▶レインダンス映画祭（イギリス）
▶カメラジャパン映画祭（オランダ）
▶Festival of New Japanese Films（ドイツ）
▶サンディエゴアジア映画祭（アメリカ）



11.15 [金] PFF Award 2013

11:00~

『カワツヒロアキ君、はい！』 45分／カラー

監督 河津宏亮（22歳／熊本県）

情けない親父に絶望した夜、
俺は愛されていたことを知る

『きみの信じる神様なんて本当にいるの?』 87分／カラー

監督 猪狩裕子（28歳／東京都）

狭小の世界に閉じ込められた
少年少女は、手を伸ばして空を見る
2013年 準グランプリ

『女島』 79分／カラー

監督 泉谷智規（30歳／奈良県）

生きる目的とはなんて、動物は考えない。
ただ食らうのだ
2013年 審査員特別賞／ジェムストーン賞

～ 休 憩 ～

15:15~

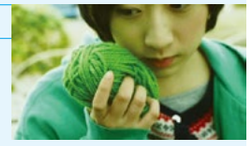
『いたいのいたいのとんでいけ』 30分／カラー

監督 朴 美和（27歳／東京都）

両親の不仲に小さな心を痛める幼女。
私にできることは何?

『愛のはずみ』 78分／カラー

監督 佐藤悠玄（22歳／東京都）



家族崩壊に怒りを秘めた少女の表情が
物語をスリリングに牽引
2013年 エンタテインメント賞

『疾走ラブレター』 6分／カラー

監督 山本圭祐（21歳／埼玉県）

教室から飛び出した
男子たちのアドレナリン、炸裂
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ）

『トータスと私』 52分／カラー

監督 川喜田茉莉（22歳／神奈川県）

電柱と会話する
素敵な空想癖をいつまでも

～ 休 憩 ～

19:00~

『His Eye Is On The Sparrow』 26分／カラー

監督 田島由深（22歳／東京都）

理解者がひとりもいなくても、
私は人間を肯定する

『夜の法則』 64分／カラー

監督 山下洋助（22歳／神奈川県）

気になる女子大生に魔の手が伸びる。
無気力男が動き出す
2013年 審査員特別賞／日本映画ペンクラブ賞

※監督の年齢は応募時のもの／地名は出身地です。

11.16 [土] PFF Award 2012

11:00~

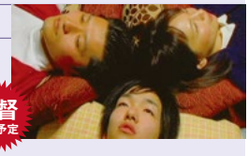
『ゆれもせで』 20分／カラー

監督 川原康臣（31歳／徳島県）

震災からひと月後、大阪の男が
元恋人を連れ戻しに東京に来る

『stay チューン』 65分／カラー

監督 伊藤智之（26歳／千葉県）



ぱっとしない男子高校生、
真の姿は深夜ラジオのスター投稿者!
2012年 審査員特別賞
▶カメラジャパン映画祭（オランダ）

監督来場予定

『継母』 22分／カラー

監督 工藤隆史（22歳／神奈川県）

父の再婚相手の過剰な世話焼きに
可奈子はなんとか対処してきたが…

～ 休 憩 ～

13:30~

『故郷の詩』 71分／カラー

監督 嶺 豪一（22歳／熊本県）

熊本から上京した大学生の、
中途半端で空回りな愛しき日々
2012年 審査員特別賞／福岡賞
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ）

『水槽』 49分／カラー

監督 加藤綾佳（23歳／新潟県）

田舎町でいじめを受けている
女子中学生の強さと弱さに見惚れる

『魅力の人間』 89分／カラー

監督 二ノ宮隆太郎（25歳／神奈川県）

工場で働く男たちの中学生男子のような
日常に浮かび上がる不穏
2012年 準グランプリ
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ）
▶ロッテルダム国際映画祭（オランダ）
▶Kino Otok-Isola Cinema Film Festival（スロベニア）

～ 休 憩 ～

17:30~

『Her Res ～出会いをめぐる三分間の試問3本立て～』 12分／白黒+カラー

監督 山戸結希（22歳／愛知県）

対照的な女の子2人の出会いにまつわる、
実験的恋愛短編集
▶ソウル国際女性映画祭（韓国）

『くじらのまち』 70分／カラー

監督 鶴岡慧子（23歳／長野県）

仲良し高校生男女3人組のすれ違う心の揺れを瑞々しく描く
2012年 グランプリ／ジェムストーン賞
▶釜山国際映画祭（韓国）
▶第25回東京国際映画祭（日本）
▶ベルリン国際映画祭（ドイツ）
▶ドーヴィル・アジア映画祭（フランス）
▶アジア映画祭（イタリア）
▶ブエノスアイレス国際インディペンデント映画祭（アルゼンチン）
▶ソウル国際女性映画祭（韓国）
▶クエンカ国際映画祭（エクアドル）＊主演男優賞：片野 翠
▶ゲント映画祭（ドイツ）

※監督の年齢は応募時のもの／地名は出身地です。

11.17 [日] PFF Award 2013

10:00~

『それからの子供』 92分／カラー

監督 加藤拓人（22歳／宮城県）

記憶が染みついた大切な家から、
一歩踏み出す

『踊ってみせろ』 63分／カラー

監督 伊藤裕満（36歳／新潟県）

周りの人間すべてが許せない。
無職男の虚勢と孤高の哀歌

『Living with the Dead』 49分／カラー

監督 富樫 渉（28歳／埼玉県）

ハイチ発の新型ウィルスにより
増殖したゾンビを「飼って」みる

～ 休 憩 ～

14:00~

『震動』 73分／カラー

監督 平野朝美（28歳／東京都）

最愛の人の世界が広がったとき、
愛が試される
2013年 映画ファン賞
▶レインダンス映画祭（イギリス）

『LONG RIVER FRIEND』 10分／カラー

監督 荒井周士（21歳／茨城県）

「僕のどこがイヤ?」と聞いたら、
愛しの彼女は「髪」と言った

『山守クリップ工場の辺り』 99分／カラー

監督 池田 暁（37歳／東京都）

得体の知れない人や出来事を
受けとめる中年男に幸あれ
2013年 審査員特別賞
▶バンクーバー国際映画祭（カナダ） ＊グランプリ受賞
▶釜山国際映画祭（韓国）

～ 休 憩 ～

17:30~

『夜とケイゴカー』 45分／カラー

監督 市川悠輔（27歳／山形県）

身勝手な悪友の運転で幕開けする
悪夢のドライブ
2013年 グランプリ
▶第26回東京国際映画祭（日本）

会場◎ 愛知芸術文化センター／12階・アートスペースA
愛知県名古屋市東区東桜1-13-2
TEL：052-971-5511
《交通アクセス》
地下鉄東山線・名城線「栄駅」
名鉄瀬戸線「栄町駅」下車
オアシス21連絡通路経由徒歩3分

お問い合わせ◎PFF事務局（平日10:00~18:00）
03-5774-5296